

～機器導入による生産体制の整備～

玄界灘共進水産加工事業協議会（福岡県宗像市）

背景・課題

中型まき網漁業は、主要魚種の漁獲量減少や魚価の低迷、燃油高騰、売上高の低下等の理由により、厳しい経営環境の下にある。

漁獲物の鮮度保持や加工品開発など、漁獲後の付加価値向上に取組もうとしているが、共進水産有限会社には水産加工・流通販売のノウハウがなく、流通加工の専門知識や技術を有する社員の採用及び育成を新たに進めるのは、時間とコスト両面で難しい状況である。

取組のポイント

共進水産有限会社とティル・ナ・ノグ株式会社が連携し、地元鐘崎漁港に水揚げされるも中小型のブリ（ヤズ）や、ふぐはえなわ漁業で混獲される小型のシイラ等の低利用魚を活用した水産加工事業の展開に取組む。ヤズは、集中水揚げが生じる特性があるため、冷凍保管、一年を通して加工品として販売することで、付加価値向上や収益増大に取り組む。

またシイラは、これまでほとんどが海上で再放流されている状況にあり、食用向けに加工・販売ができれば新たな収益が見込まれる。

取組の成果

- 本年度は商談成立には至らなかったが、次年度以降、機器導入により生産体制が整い次第、本格的な営業活動が行える状況に。
- 販売や流通量拡大を狙いとしたBtoC向けコンテンツを中心にホームページの開設が完了した。

プロジェクトフロー

中型まき網漁業者

主要魚種の漁獲量減少などにより、厳しい経営環境である

共進水産有限会社

水産加工・流通販売のノウハウが無い為、鮮度保持や加工品開発などの付加価値向上に取り組むことができない

玄界灘共進水産加工事業協議会

中小型のブリや小型のシイラなどの低利用魚を利用した水産加工事業の展開

加工機器導入による水産加工品生産体制の構築
販売・流通目的ホームページの開設

急速冷凍庫



冷蔵庫



瓶詰加工品



パワポ作成年月
(令和3年3月現在)